

平30年度支部事業計画書

平成30年2月1日から平成31年1月31日まで

支部名： 関東支部

支部長名： 川西 徹

1 概要

1) 支部の活動方針

薬学会会員の約半数を有する関東支部では、以下を重点目標として活動に取り組むとともに、支部活動の活性化を通じ、会員数の増強を図る。

(1) 大学院生、6年制学部学生の口頭発表・ポスター発表、大学、各種研究所及び企業研究者間の学術・情報交流、地域薬剤師との連携を積極的に進めるための支部大会および各種学術講演会を開催する。

(2) 若手研究者に関東支部奨励賞を授与するとともに、企画・運営を委ねるシンポジウム開催を通じ、若手の活性化と支部活動の担い手育成を図る。

(3) 卒後教育研修会等を通じて、薬剤師の学術的な研修の支援を行う。

(4) 「くすりと健康」に関する理解を深める目的で、市民を対象とした講演会を継続して開催する。

(5) 将来の科学技術を担う青少年を対象とした薬学に関する啓発活動を推進する。

2) 継続的活動

・支部大会： 大学院生、6年制学部学生を含む関東支部会員の研究発表の場を設け、関東支部における研究活動の活性化とともに支部会員相互の交流と連携を押し進める。

・若手シンポジウム： これからの薬学を担う若手研究者が企画・運営するシンポジウムを関東支部大会とともに開催することで、多様な分野の若手研究者の研究活動と交流の一層の拡大を図る。

・薬剤師向け
研修講演会： 薬剤師向け研修講演会：主に病院や薬局に勤務する薬剤師を対象とし、学術的な研修講演会として開催する。6年目は、新潟県で開催する。

・学術講演会： 薬学の関連分野の研究者を演者とした講演会を開催し、大学、各種研究施設及び企業等の会員の研究活動の活性化を図るとともに、相互の学術・情報交流の場を設ける。

・市民講演会： 「くすりと健康」に関する最新の知見を市民向けにわかりやすく提供することで、健康維持や薬物治療への関心の向上を図る。春と秋の年2回、開催する。質疑応答も極めて活発で市民から好評を得ている講演会である。

・子ども実験企画： 将来の薬学を担う人材の確保と社会貢献を目的とする。まだ進路が決まっていない小学生とその父母を対象とし、薬学の世界を知ってもらうための啓発活動を行う。医薬品開発に関連した内容にて体験学習を開催する。

3) 新規活動

4) 特筆すべき計画

平成30年度支部長就任予定者（氏名、所属、所属所在地、Tel、E-mail）

辻 勉

星薬科大学 薬学部

〒142-8501 東京都品川区荏原2-4-41 星薬科大学 微生物学教室

03-5498-5753

tsuji@hoshi.ac.jp

2 支部活動の具体的計画

1 支部総会等の開催				
名称	日時	場所	参加者数	特記事項
第62回支部総会 第62回支部大会	2月16日 9月15日	長井記念ホール 帝京平成大学薬学部	650	
2 事業				
名称	日時	場所	参加者数	特記事項
若手シンポジウム	9月15日	帝京平成大学薬学部	50	
薬剤師向け研修講演会	7月29日	新潟県	200	
第43回学術講演会		長井記念ホール	100	
市民講演会 (春)	5月26日	長井記念ホール	250	
(秋)	10月13日	慶應義塾大学 日吉 キャンパス 来住舎	250	
子ども実験企画	夏		20	
協賛、共催、後援	随時			
3 奨励表彰(名称)		受賞件数	対象研究	副賞
支部奨励賞		最大3件		図書カード2万円
支部大会学生優秀発表賞			支部大会一般講演から組織委員会により選考	
4 会議等の開催				
名称	日時	場所	特記事項	
第1回支部幹事会	2月16日	長井記念ホール	新旧委員引継 次期幹事、役員候補者、役員等選考委員候補者選出等審議 次年度事業計画、予算案等審議 事業報告、収支計算書、次年度運営体制等審議 支部会計監査	
第2回支部幹事会	9月15日	帝京平成大学		
第3回支部幹事会	平成31年2月	長井記念ホール		
新旧執行部会	2月16日	日本薬学会		
第1回執行部会	7月	日本薬学会		
第2回執行部会	9月	日本薬学会		
第3回執行部会	平成31年1月	日本薬学会		
支部監査会	未定	日本薬学会		